

2021年8月4日

各 位

上場会社名 日本パワーファスニング株式会社
 代表者 代表取締役会長兼社長 土肥 雄治
 (コード番号 5950)
 問合せ先責任者 専務取締役管理本部長 海保 好秀
 (TEL 072-789-9700)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向などを踏まえ、本日開催の当社取締役会において、2021年2月12日に公表しました第2四半期累計期間の連結業績予想を下記の通り修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

業績予想の修正について

2021年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2021年1月1日～2021年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,900	50	30	10	0.62
今回修正予想(B)	2,470	21	82	56	3.51
増減額(B-A)	429	28	52	46	
増減率(%)	14.8	56.5	174.6	469.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2020年12月期第2四半期)	2,675	109	189	167	10.30

修正の理由

2021年12月期第2四半期連結(累計)期間におきましては、輸出や設備投資などで持ち直しの動きがみられたものの、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が長期間におよび経済活動の抑制や制限が続くなど、依然として厳しい状況が続きました。

そのような経済状況の中、当社グループの業績に關係の深い建築市場につきましても、3月以降に新設住宅着工戸数に持ち直しの動きが見られたものの、コロナ禍前の水準には至っておらず、また、建築市場全体で見ても、引き続き見直しや延期が見られ厳しい環境が継続しました。

売上高は、上半期中から徐々に新型コロナウイルス感染症が収束するとの前提のもと、昨年中断・延期されたペントアップ需要(繰越需要)の顕在化や、新型ガスツール等の新製品の拡販を見込んでおりましたが、いずれも計画を下回ったため、前回予想を下回る見込みとなりました。

営業利益におきましては、徹底的な経費削減に努めましたが、売上が計画を下回ったため前回予想を下回る見込みとなりました。経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益におきましては、在外連結子会社の円建債務に係る為替差益の計上したことなどにより、前回予想を上回る見込みとなりました。

なお、通期の連結業績予想につきましては、現在策定中であり、2021年8月10日(第2四半期決算短信発表日)に修正発表を予定しております。

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上